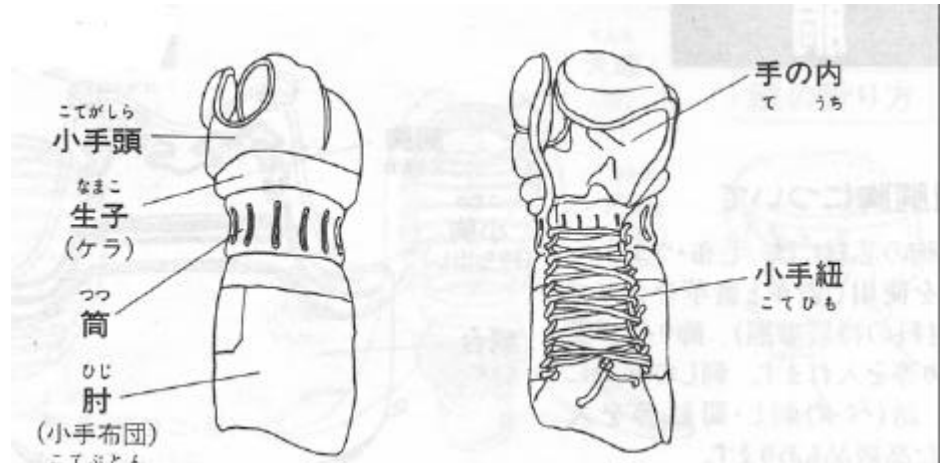


# 小手



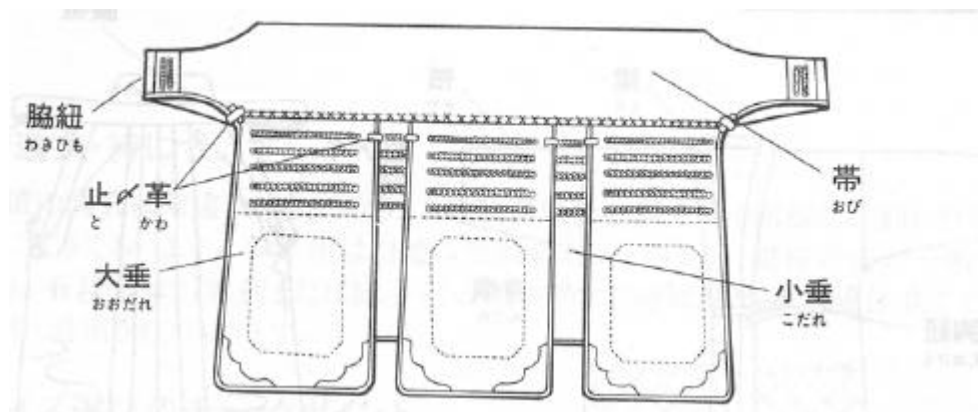
## 取扱い・手入れ方法

小手は、小さくても大きすぎても使いにくいものです。自分の手に合ったものを使ってください。小手紐は、適度に締めてあまり強く締め過ぎないようにし、小手紐があまった時は、長いままにせず切っておきます。小手をつけるときは、小手頭を持って手に押し込むようにし、はずす時には、肘の端の部分を持って手を抜くようにします。

小手は、剣道具の中で一番痛みやすいものなので普段の手入れが肝心です。稽古の後には、手の内革をよく引き伸ばして、風通しのよい所で日陰干しをします。特に汗を多くかく夏や湿気の多い梅雨時には、防具袋の中に入れてたまにせず必ず日陰干しをしてください。直射日光に当てると革の部分が硬くなりやぶれやすくなりますので十分注意してください。

小手の修理は、早めに専門家に依頼してください。また、汗が残っている状態で連続使用すると小手の寿命を縮める結果となります。できればもう1組小手を用意して、交互に使用することをおすすめします。

# 垂



## 手入れ方法

垂は、直接肌につくものではなく、打たれることも少ないので、比較的痛む部分が少ないものですが、大垂と帯を止めてある革が切れた時などには、早めに専門家に修理を依頼してください。脇紐がしわになった時には、アイロンをかけてください。また、帯・大垂・小垂を時々軽くブラッシングして、風通しの良い日陰干しにして乾燥させてください。